

八地申  
第24号  
3月3日  
提出!

## 竜王駅の駅業務体制見直し及び 「話せる指定席券売機」の導入に関する申し入れ

2020年10月2日「2020年度営業施策（その2）について」提案を受け、竜王駅は本体駅のまま甲府駅の被管理駅になることが示され、2021年2月1日より駅業務体制の見直しが行われています。話せる指定席券売機の導入やインターフォン設置により案内と企画業務を柔軟に対応していくことで効率的な業務が出来ると思いますが、サービスレベルが低下することはあってはなりません。

解明交渉では甲府駅、竜王駅どちらの作業ダイヤにも入ることはあるとしつつも教育体制は具体的に明らかになっていません。異常時を含めた教育体制を充実させることや、技術継承・技能伝承が出来る駅業務体制の構築と駅の連携を強化することで異常時対応能力を高めていくことが必要不可欠と考えます。また、女性休養室の整備について具体的に示せるものはないとの回答ですが、女性社員活躍の場を拡大するためには竜王駅に女性社員が泊まれる環境を整えることが求められています。営業職場で働く組合員が「安全・健康・ゆとり・働きがい」を実感できる施策の実現に向け、下記の通り申し入れを行いました。

1. 竜王駅は常時運転取扱い駅である為、今後も駅業務委託は行わないこと。
2. お客さま対応のサービスレベルを低下させないため竜王駅改札口に社員を配値すること。
3. 異常時対応の連携強化を図るため管理者を竜王駅に配置すること。また、竜王駅に業務用自動車を配置すること。
4. 女性が活躍できる場を拡大するため、竜王駅に女性休養室を速やかに設置すること。
5. 竜王駅は構内作業が多岐に渡ることから安全を考慮し、助勤体制の解消を行うこと。
6. 竜王駅は運転取扱いを行なう駅であるため、安全の観点から必ず1徹は輸送職社員を配置し、輸送職指定とすること。
7. 竜王駅在勤指定を行なう際には、十分な教育・訓練を行なった上で指定すること。

**安全・サービスレベルが向上する施策を実現させよう!**